

日時：2月1日(土), 15:25～18:00

場所：ハロー貸会議室千葉

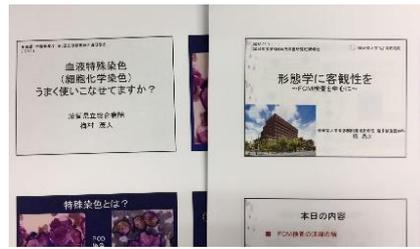
テーマ：『形態所見に客観性を持たせる ～質の高いコメント、レッツ・スターティン!～』

講演1「形態学に客観性を～FCM検査を中心に～」

順天堂大学医学部附属浦安病院 臨床検査医学科 横 亮介 技師

特別講演 「血液特殊染色（細胞化学染色）うまく使いこなせてますか？」

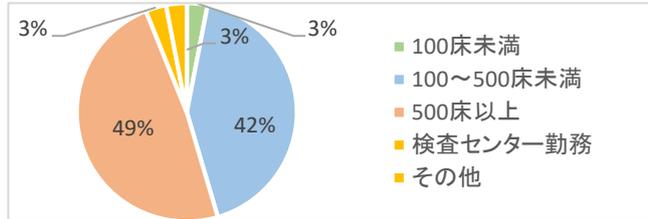
滋賀県立総合病院 臨床検査部 梅村 茂人 先生



アンケート結果(回答33件)

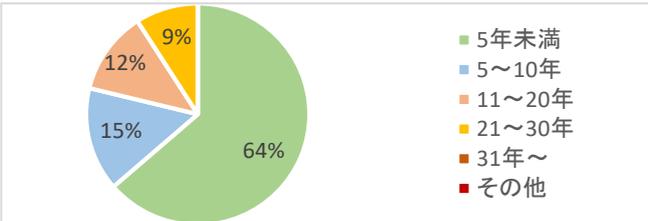
1. あなたの勤務先の病床規模はいくつですか？

100床未満	1
100～500床未満	14
500床以上	16
検査センター勤務	1
その他	1



2. あなたの血液検査経験年数は何年ですか？

5年未満	21
5～10年	5
11～20年	4
21～30年	3
31年～	0
その他	0

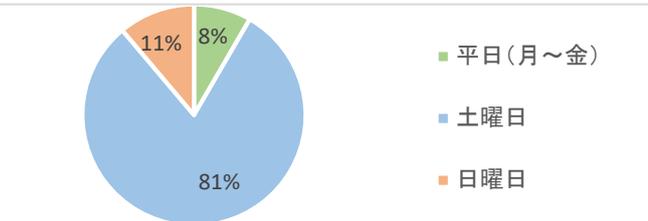


・日曜日の日勤または当直時のみ(1)

・経験なし(1)

3. 研修会開催について、ご希望の日または時間はありますか？

平日(月～金)	3
土曜日	29
日曜日	4



・平日19時(1)

4. 今回の血液研修会についてどのような印象をお持ちですか？

(1)大変有意義だった	24
(2)有意義だった	6
(3)まあまあだった	2
(4)もの足りない	0
(5)非常に不満足	0



・特殊染色のいろいろ…明日から生かせるもので、大変勉強になりました。

・ルーチンに活用できるものが多かった。

・FCMの見方、考え方がわかった。特殊染色の裏技も聞けて良かった。

・ハンドアウト資料が充実していた。

・ちょっと期待した内容と違ったかなと。

・形態に関する業務が少ないため。

・FCMについてわかりやすく理解できた。

・フローサイトメトリの基礎から見方がわかりました。

・GMLでALPが低下する原理など初めて聞く内容が多くてためになりました。

・特殊染色があそこまで奥が深いと思いませんでした。

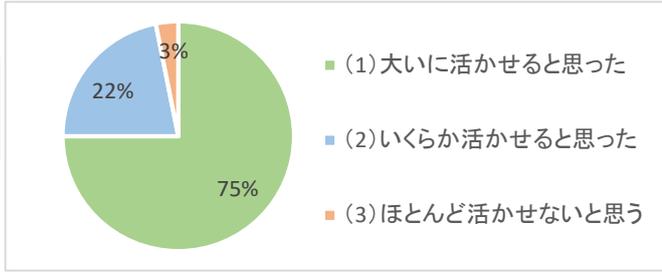
・常々、悩んでいる内容だったので。



5. 研修内容は今後の職務に活かせると感じましたか？

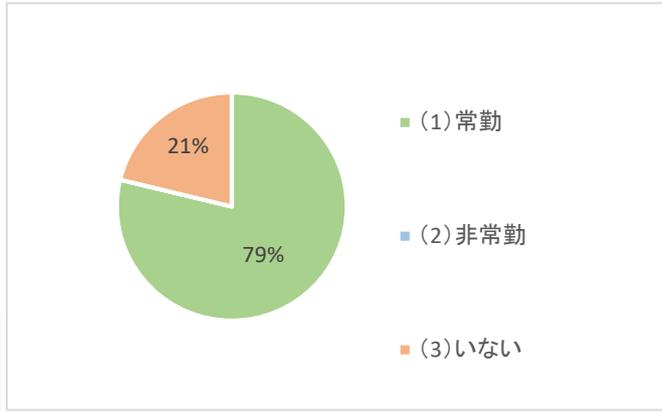
(1)大いに活かせると思った	24
(2)いづらか活かせると思った	7
(3)ほとんど活かせないと思う	1

- ・(特殊染色の)陽性コントロールの例、あいまいだったFCMの原理を知れたため。
- ・あとは自分の努力
- ・ルーチンに活用できる内容が多かった。
- ・特殊染色は、忘れたころに実施するのでわかりやすく記憶に残るような内容でした。
- ・FCMはデータの見方に、特殊染色は診断の補助に使分けたいです。
- ・特殊染色の疑問や、裏技みたいなのも聞くことができた。
- ・さっそく、染色法の検討をします。ありがとうございます。
- ・骨髄鏡検のときにFCMの結果を理解してから鏡検できるため。
- ・トリジン青がメイでわかるのが素晴らしい。
- ・勤務先でフローサイトメトリを行っていないため、自分のスキルUPに有意義でした。
- ・特殊染色は教科書に載っていない内容が聞けたので
- ・2演題とも資料が豊富で見直せる
- ・うまく染まらないことがあっても、誰にも聞けなかったので今回の内容はとてもためになりました。
- ・FCMは院内でやってませんが勉強になりました。
- ・染色のコツをたくさん教えていただいたため試してみたい
- ・なんでゴミがたくさん載ったりするのか？水洗の強度とか固定の重要性がわかりました。



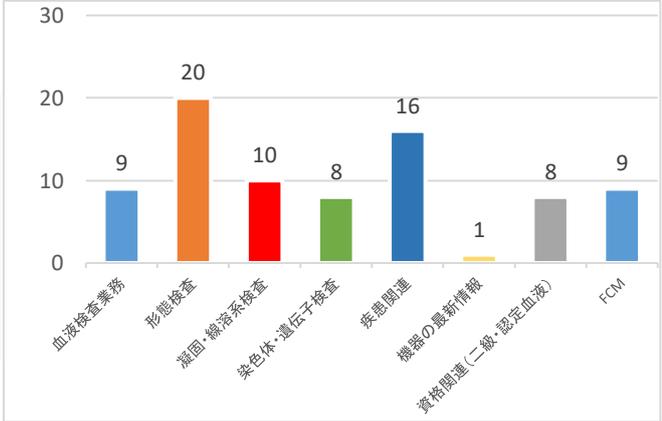
6. ご施設に血液内科を専門とされている医師は勤務されておりますか？

(1)常勤	26
(2)非常勤	0
(3)いない	7



7. 今後の血液研修会の内容について、一番関心の高いものはなんですか？(複数回答可)

血液検査業務	9
形態検査	20
凝固・線溶系検査	10
染色体・遺伝子検査	8
疾患関連	16
機器の最新情報	1
資格関連(二級・認定血液)	8
FCM	9



8. 今後、希望する研修会テーマやなにか日常業務でお困りなことはございますか？

【希望テーマ】

- ・骨髄鏡検のポイント(白血病患者の化学療法や療法後、移植前や後、又は再発などの場合など)
- ・形態FCM ・凝固の基礎 ・染色体検査(FISH)の結果の判読。
- ・形態検査とCBC患者の主訴などの関連性、技師サイドからDr.へのコメント。マルクが必要ななど。
- ・マルクの手技的なこと。染色方法等、基礎的な知識など。 ・FCM

【日常業務で困っていること】

- ・骨髄検査でMOなのかAbnormalなMyeloBlastなのかの形態的鑑別。
- ・マルチカラーFCM解析方法(どのようにゲーティングしていくか)
- ・教える立場で、新人にどう教えてよいか。あまり検体数が少ないと教えるものむずかしい。
- ・報告するレベルかどうかの判断。大型血小板が散見される時、+としていいのかなど。

9. 血液検査研究班になにかご意見はありますか？

- ・ありがとうございました。
- ・わかりやすかったです。
- ・実技講習会を増やしていただければと思います。

